

令和5年度 SSTA福島支部 秋季研修会 実施報告

【実施日時・場所】令和5年11月18日（土）9：00～12：00 @フォレストパークあだたら

【参加人数】19名（お子様連れでの参加も見られました）

【研修のねらい】

- 若手教師とSSTAメンバーがフィールドワークを通して、福島 naturally の美しさや豊かさを分かち合う。そして、地域素材の魅力を再発見し、日々の授業実践に生かすことができる。

【研修の様子】

○ 開会行事

開会行事では森の案内人の方より、フィールドワークの際の注意点や秋から冬に向かって今の時期の自然の楽しみ方についてお話をいただきました。木々の葉が落ち始めてきているため紅葉を楽しむ時期は過ぎてしまいましたが、冬に向けての準備が始まった植物たちや葉がある頃には見えなかった景色も楽しめるとのことで、これからは始めるフィールドワークに向けてわくわくが止まりませんでした！さあ、いよいよフィールドワークのスタートです！



うるしの葉もこの時期は紅葉しています。触れないように注意しましょう。

○ フィールドワーク

秋が深まったフォレストパークあだたらは、木々の葉はだいぶ落ちてきていましたが、この時期ならではの自然の姿を見ることが出来ました。トチの木の枝の先がネバネバしているのはアブラムシなどをくっつけ、来年発芽する際の芽を守るためであったり、オオバコは人が靴の裏に種子が付いて運ばれるため、森の中ではなく人が歩く道に群生しているので道に迷ったときの道しるべにもなったりするなど、これまで知らなかったことを教えていただきました。他にも落葉の中からクリやカエデの葉を探したり、ヒノキやアスナロ、サワラ等の一見同じに見える葉の見分け方を教えていただいたりしました。実際に見て触れてみないと気付くことができないことを実感することができました。



センブリの葉



バラエティ番組などでおなじみのセンブリ茶の原料となるセンブリの葉を見つけ、葉を噛んでみました。苦みは健在でした。胃腸にとっても良いそうです。



川の源流を発見！水が澄んでいて湧き出てくる音が心地よい！



真っ白なシラカバの木は森の中でとっても目立ちますね。

豆知識！！ サワラとヒノキの見分け方

同じヒノキ科の植物のサワラとヒノキ。森の中で一見すると同じに見えますが、実は簡単に見分ける方法があります。それは葉の裏側の白い模様です。白い模様が「H」に見えるのがサワラ、「Y」に見えるのがヒノキだそうです。ぜひヒノキ科の植物を見つけた時には葉の裏側をじっくり観察してみることをおすすめします！



どちらがヒノキでしょう～か？

○ 閉会行事

閉会行事では、森の案内人さんから、四季によって表情を変える自然の様子をぜひ、これから見て比べ、体験していただきたいとお話をいただきました。また、福島大学准教授 鳴川哲也先生よりフィールドワークを通したまとめのお話をいただきました。

秋の深まったフォレストパークあだたらのフィールドワークにおいて森の専門家である案内人の方から驚くような知識を教えてください、五感をフル活用しながらで大自然に触れたりすることで、理科教育における「直接体験」の大切さを改めて実感しました。今回は秋の自然の様子に触れましたが、他の季節にも研修を企画し、自然の変化を感じていきたいという思いが高まる研修となりました。



今日のフィールドワークでは植物の共通性や多様性を肌で実感したと思います。知識があるからこそ見方・考え方を働かせることができますよね。



参加者全員で集合写真